

令和3年8月定例会 提案説明要旨

(はじめに)

関西広域連合議会令和3年8月定例会の開会に当たり、議員の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

感染力が強いとされるデルタ株の影響により、関西圏域においても、新規感染者が急増しています。関西広域連合としましても、この第5波を一刻も早く抑え込むため、強い危機感を持って、構成府県市とともに感染拡大防止対策に取り組みます。議員の皆様におかれましては、引き続き御指導、御協力いただきますようお願いいたします。

それでは、提案理由の説明に先立ち、6月臨時会以降の主な取組について御報告します。

(新型コロナウイルス感染症への対応)

第1は、新型コロナウイルス感染症への対応です。

関西圏域における感染者数は、7月以降、再び増加に転じ、急速に拡大しており、現在、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県に緊急事態宣言が発出されています。

このような状況の中、ワクチン接種により高齢者の感染が減少する一方、若年者の割合が高くなっており、やはり、コロナ克服の鍵はワクチン接種であると認識しています。

関西広域連合では、府県市民の皆様に向けて積極的に接種への参加を呼びかけるメッセージを発信するとともに、構成府県市での効果的な取組や知見を共有し、希望する府県市民の皆様への接種が早期に完了するよう、さらなる取組を進めています。

(広域防災の取組)

第2は、広域防災の取組です。

梅雨前線の停滞や線状降水帯の発生に伴い、全国各地で大雨による被害が発生しています。犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にお見舞いと1日も早い復旧・復興をお祈りします。

関西広域連合では、大規模な土石流により甚大な被害が生じた静岡県に対して広域緊急援助隊を派遣するとともに、浸水被害のあった鳥取県に対しては、土のうやブルーシートの提供、排水ポンプ車による排水活動支援などの支援を行いました。

また、本日開催した広域連合委員会では、今後の大雨や台風に備えて、コロナ禍にあっても災害時には、早めの避難行動を呼びかけるメッセー

ジを発信しました。

（広域観光・文化の振興）

第3は、広域観光・文化振興の取組です。

関西広域連合が参画する広域連携DMO「関西観光本部」では、2025年大阪・関西万博に向けて、関西のインバウンド観光が目指す姿を示す新たなグランドデザインの検討を進めています。8月4日開催の有識者会議には、私と西脇副広域連合長が出席し、意見交換を行いました。

今後は、関西広域連合において策定を進めている「新・関西観光・文化振興計画（仮称）」と連動させ、インバウンド観光の再開を見据えて、関西が一丸となって取組を推進します。

（中堅・中小企業支援の取組）

第4は中堅・中小企業支援の取組です。

関西広域連合では、構成府県市の公設試験研究機関が連携を強化し、企業ニーズに応じてスムーズかつスピーディに情報を提供するため、「かんさいラボサーチ」を本年4月に設置し、コンシェルジュ機能を付加するなど相談体制を強化してきました。

今後さらに関西の中堅・中小企業を支援するため、経済界とも連携・協力し、研究開発や事業化に向けた伴走支援や国の研究機関、大学・民間企業との連携など機能強化に向けた検討を進めます。

（地方分権改革の推進）

第5は、地方分権改革の推進です。

分権型社会の実現に向けた取組については、政府機関の地方移転を一部実現したものの、未だ十分とはいえない状況にあります。一方、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東京一極集中や国と地方の役割分担における課題も顕在化するなど、社会状況も変化しています。

そこで、今一度、地方分権の推進に向けて、地方分権や国土構造に関して識見のある有識者のご意見も伺いながら、我々にとって本当に望ましい地方分権のあり方とは何か、というところまで立ち返り、検討を進めます。

（広域インフラの整備促進）

第6は広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線については、1日も早い大阪までの全線開業の実現に向け、7月29日に開催された与党の「北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会」での要望をはじめ、8月18日には北陸新幹線建設促進同盟会とともに与党及

び関係省庁に対して中央要請を実施しました。

また、この度のJR西日本のダイヤ減便等の改正については、7月13日にJR西日本に対して、地元自治体への十分な説明、利用者利便性への配慮、新型コロナウイルス感染症収束後のダイヤ復活などを強く要望しました。

今後とも、地域交通の維持、向上を図るため、構成府県市と十分連携し、必要な対応を行います。

（2025年大阪・関西万博）

第7は2025年大阪・関西万博の取組です。

関西では55年ぶりとなる登録博であり、歴史や文化に加え、ものづくりや先端医療をはじめとする関西の強みを世界にアピールするとともに、関西全体の誘客につなげる絶好の機会です。

関西広域連合としましても、関西各地へのゲートウェイとなるパビリオン出展の検討や、構成府県市が実施する万博関連イベントとの連携等、万博の効果を関西全体に波及できるよう取組を進めます。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第9号議案「令和2年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」です。令和2年度決算は、歳入25億1,741万9千円余、歳出24億5,566万1千円余で、歳入歳出差引残額は、6,175万8千円余です。

また、この決算について、先に監査委員の審査に付しましたところ、別添のとおり決算審査意見書の提出がありましたので、今回、関西広域連合議会に報告するものです。

次に、第10号議案「令和3年度関西広域連合一般会計補正予算(第1号)の件」です。歳入歳出それぞれ3,088万円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億5,088万5千円とします。このたびの補正予算は、令和2年度決算に伴うものです。

（おわりに）

以上で提出した議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしく御審議をいただきますようお願いいたします。